

「診療報酬改定の最新情報と対策について」と題してご講演いただきました。

一般演題は、多職種連携、病棟保育士との連携、医療と障がい者福祉、手術室キット切替え、内視鏡室の相互見学、といった多様な発表があり、活発な討議がされました。

当日は医療や行政関係者等、多職種100名の参加があり、終了後には、「非常にわかりやすかった」、「進むべき方向性を検討する上で大変参考になった」という声が多く聞かれ、病院機能の向上と地域貢献に一層意欲的に取り組んでいこうと、思いを熱くしている様子がうかがえました。

本学術集会開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

### 第17回千葉支部学術集会

学術集会会長：地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院  
病院長 田中信孝

2018年2月24日(土)に地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院しおさいホールにおいて「医療安全とクオリティマネジメント」をテーマに第17回千葉支部学術集会を開催し、103名の方々にご参加いただきました。

前半の一般演題9題では各職種から充実したご発表をいただきました。後半の特別講演Ⅰでは「超高齢化社会における医療安全」-Q&Aと覚え方-と題して地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院脳神経疾患センター長の唐澤秀治先生にご講演いただきました。

また特別講演Ⅱでは「レジリエンス・エンジニアリング理論の医療の質・安全におけるアプローチ」と題して大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授・部長の中島和江先生にご講演いただきました。両講演とも大変盛況でした。

最後に、本学術集会開催にあたりご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げ開催報告といたします。

### 第11回大阪支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院  
病院長 吉田和也



会場風景

第11回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会は2018年2月24日(土)に「少子超高齢社会の医療をマネジメントする～

医療法改正・診療報酬同時改定を見据えて～」と題し、

大阪国際交流センターにて開催致しました。

リハビリテーション専門病院が主催すること、さらに同時改定の直前ということもあり、特別講演3題、教育講演1題、シンポジウム1題をはじめ、一般口演にも工夫を凝らし、121名の方に日々の取り組みについてご発表をいただきました。特にシンポジウムでは、急性期・回復期・生活期、そして行政の立場からもご講演・討論をして頂き、日々の課題と今後について共有することができました。

その結果、府外からも多く参加して頂き、総参加者は727名となりました。積極的な議論を通じて、多くの学びと気づきを得ることのできる充実した有意義な場となったかと思えます。

最後になりましたが、本学術集会の開催にあたり、ご支援・ご協力頂きました皆さまに心よりお礼申し上げます。

### 第17回福岡支部学術集会

学術集会会長：社会福祉法人恩賜財団済生会支部  
福岡県済生会福岡総合病院副院長 落合利彰

第17回福岡支部学術集会は2018年2月24日(土)に都久志会館(福岡市中央区天神)において開催されました。

テーマは「地域完結型医療を実現するために～チーム医療と地域連携を考える～」といたしました。

シンポジウム「超高齢化社会の地域医療を支える多職種・多施設連携」では、九州医療センターの竹尾貞徳氏、福岡赤十字病院の井手 麻利子氏の座長のもと、福岡県庁の白垣幸助氏、飯塚病院の田村美恵氏、大牟田市立病院の北嶋晴彦氏、北九州総合病院の白木原真佐美氏、たけとみクリニックの武富賢治氏に、各施設での取り組みについてご発表を頂き、活発な議論が行われました。特別講演では、株式会社日本経営取締役の橋本竜也氏より「チームの力を高めるマネジメント」についてご講演を頂きました。また一般演題では、50題ものご発表を頂きましたが、ここでも会場から多くのご質問やご意見があり、有意義な討議がなされました。

最後になりますが、医師、看護師を含めた多職種の医療関係者、行政関係者など約200名の参加を頂き、盛会のうちに本学術集会を終了することができました。これもひとえに関係各位のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。



会場風景